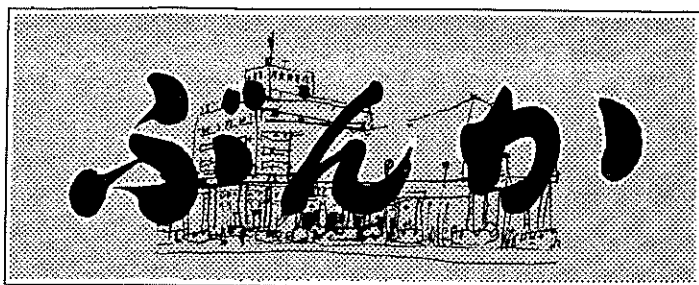


# 2号

1969. 6



発行所  
富山県民会館文化友の会  
富山市新総曲輪4の18  
富山県民会館内  
郵便番号 930  
電話 富山32-3111(代)  
郵便振替口座金沢 10561番

毎月27日発行  
購読料 1ヵ年600円



## ご挨拶

会長 源 初太郎

このたびの富山県民会館文化友の会の改組新発足にあたって私が会長に推せんされまして、

私は驚きかつおそれしております。

改組新発足に大いにご努力された方々が、新発足の集会で決議されたとのことでもあり、私は半ば諦めてお引き受けしたようなわけでありまして、いまだに納得がゆかないというのが、偽らない心境なのであります。率直に申しまして、私にその任が果せるかどうかということでもあります。

県民の文化教養の向上、中央文化との交流提携ということは、非常に重要な問題であり、是非ともこのことについて成果のあがるような活動を展開すべきであると考えますが、このことは、実に大きな仕事なのであります。

文化友の会は、このような大きな仕事に力を尽し、成果を取めようとするをその目的としております。思えばたいへんなことであります。従いまして、私が会長としての任が果せるかどうかとおそれております理由も、このことに思いを致すからであります。しかし、ご推せんをいただき、会長をお引き受けしましたからには、私は微力ですが、全力を尽したいと考えております。

幸いにも、運営委員の方々は、本県文化団体のリーダーであり文化活動の先達として活躍しておられる方々であります。私はそれらの方々との全面的なご協力を確信しております。こんご、それらの方々とは十分にお話し合いを遂げながら、ともどもにこの会の目的達成に努力を積み重ねて参りたいと存じます。

このため、一人でも多くの同志的会員の獲得こそ大きな課題であります。会員各位が『会員獲得に全力を傾注』されることを、期待いたします。

## 第39回研究発表演奏会

「花と鳥の歌、風と水の心を求めて」

たくましく生きる力は、名も知らぬ「むれ草」もも草に秘められ、その姿からは、限りないものを含ませたふくよかで私たちに話しかけてくれる。人によっては感じないまま、眺めようともされない存在ではあるが、「その草を根こそぎ引きぬいて、わが手に握るとき初めて神の英知を知ることができる」(テニスン)私にはたまらない魅力に思えるのである。「叢」をなす草々は、「路傍の雑草」であっても、自然のままなもの、人変り世移るとも、永久に変わぬものを持ちつづけ、時到来れば色なす力すべてを育み「心」さえもっているのだ。あの爆撃をくらって、一夜のうちに廃虚と化した「わが故郷」を支えて芽生えたもの、そして、第1回の研究発表演奏を(市民音楽文化講座)高岡市川原小学校講堂でもった私たちの「叢声楽苑」なのである。たどたどしく歩みながらあらゆる困難を克服し、やりとげてきた意気込みと25年の流れからどうしてかと思う程に不思議さに充ちた形で創立当時のことが頭に浮かぶのである。

回を重ねること39回、今や昭和元禄、世は正に切迫感なんかどこ吹く風といった感がひとしおである。合唱の道は「正しさ」と「美しさ」を求める苦しさには耐えぬく楽しさは、格調の高いものからこそ味わえるのであり、このごろのような混乱の世相からは、なかなかこの信条を理解した仲間が少なくなってきたことが何よりも残念である。

このたびの集いは、「花と鳥の歌、風と水の心を求めて」のサブ・タイトルで、アマチュアらしい清純なもの、素朴なものを歌心に託して勢いっぱいな努力を傾けるつもりである。

混声合唱としては、下総完一作曲「春の塵」(箏曲伴奏)大中恩作曲「風と花粉」(無伴奏)高田三郎作曲「心の四季」「水のいのち」より「海に、(ピアノ)

和文・英文・カナ科

厚、夜



### 公認 富山タイピスト学校

富山県民会館R階 TEL 0432

入学期 4.7.10.1月  
各5日(3ヶ月終了)

### 公認 井上簿記学校

富山市総町1丁目7-11 TEL 076-2222

## 陶匠石黒宗麿遺作展



白釉魚紋扁壺

宗麿先生は鉄釉陶器の第一人者で昭和30年2月その技術を重要無形文化財に指定され、文化財保持者即ち「人間国宝」に認定された。

明治26年新湊市に生れ、少年の頃から

作陶に従事したが天下の名器曜変天目茶碗の美しさに魅せられ、これが動機となって中国唐宋時代の古陶を研究し唐三彩・絵高麗・宋赤絵・均窯などの技法の再現に傾倒し、他の追随を許さぬ逸品をつくり、この人ならではの技を生み出した。

先生は本県が生んだ人間国宝として、京都八瀬で作陶していたが、昨年6月逝去された。

本展は先生の1周忌を記念し、その偉業を偲ぶため開催するもので、県内に遺された優秀品と東京、京都方面の逸品を一堂に集めて陳列します。

なお6月29日県民会館で故人宗麿先生とはもっとも親しく交はり、陶磁研究では世界的権威の小山富士夫先生の講演会を催します。多数ご参加ください。

日時 6月24日～7月1日

場所 県民会館 3階美術館

### 北陸現代作家集団について

4年前の秋、金沢で、北陸3県の若い作家たちが集って、「前衛」を旗印に、新しい芸術の創造や運動を展開しようと、この集団を結成いたしました。

これまでの地方のグループは、いわゆる中央展への足がかりにと、中央の何々会に所属という肩書をもったの社交の集りに、というような性格や行き方になっていました。そうしたあいまいさを排して、この集団が、そのまま、現代の芸術界の目とも、核とも、先頭とも、新しい星ともなろうと意気込んでいます。

この集団を構成する母体が、金沢の集団・青、福井の北美、富山の集団・標（仮称）です。

各グループで、多少の相違はありますが、同じように月例研究会などを持って、たえず、「現代」を語り合い、討論しています。順番に、グループ内の巡回作

家訪問を行い、自宅個展を開いての合評会等もいたします。

現在、団体展というもの存在意義がボヤけてきています。そんなさなかで、敢えて集団をつくろうとするからには、それだけの新鮮な魅力、必然性、独自性が必要です。展覧会は、大体春に持ちますが、主催地を巡回制にして、金沢→富山→福井の順で年毎にかわります。金沢展、福井展の年でも、その後富山へ持ってきますので、富山では毎年開くことになります。作品部門も、従来の絵画、彫刻を、平面と立体の造形と改めました。

表現様式や手段は、作家それぞれの問題ですが、共通していることは「現代（芸術）は如何」ということで、悩み、実験し、主張し、反省を重ねているということです。

本展時、現代の美術評論界の若手の第一人者中原佑介氏などを招き（継続的）、単に、批評を一方的に受けるというのではなく、討論や、情報交換を行っています。こうした行き方に、賛同の方は、加入してみませんか。

北陸現代作家集団会員 中谷唯一

あらゆる民族が力をこめてつくりあげてきた文化にふれるとき、その民族の歴史を汲みとることができる。

人間がつねに美しいものを求めて止まない気持が、美しいというおいの生活につながるのだ。文化友の会がその一翼を担って県民と共に発展されんことを願うものです。

一会員 A 生

今日この頃は、一年中でもいちばん季節のよろこびを感じることができる時期だろう。緑の風が、白い雲がなくはなくともありがたく嬉しくなるのである。季節のよろこびを感じることは、生きていることを感じることであり、更には、明日へのよろこびを喜ぶことだと言えよう。仮に、いかに乏しくとも、いかにその身は貧しくとも、もしも、心が豊かであり、明るい心境にあるならば、われわれは、いま身辺にちかに季節のよろこびを感じる事が容易であろう。

文化は心を豊かにしてくれるものだと、わたしは信じている。だから、文化は、われわれに季節のよろこびを感じさせ、われわれに「生命の明日」を感じさせてくれるものなのであると強く主張したいわたしである。

(一言子)

今年もすぐれた企画と技術でご奉仕する

屋外広告・店装・企画・立案・製作

**SAKAI**  
INDUSTRIALART

サカイ インダストリアルアート

第1スタジオ 富山市荏原新町 TEL41-5651・第2スタジオ 富山市向新庄



伴奏)を中心にして、新しい「日本の作品」に取組み、「やまとことば」の美しさを探り、その「心」を歌い出すのに苦勞している。女声合唱では、佐藤 真作曲「花のなかにねむる」を、男声合唱として、多田武彦作曲「早春」を組み入れ一応コーラスの基本的な型をとり、それぞれの持味について研究を誠みた。

へただからこそやるのだ………と、励まし合いがんばっている私たちにとって何より嬉しいのは、中村義朗さんが作品発表で、堀井孝三さんのバス独唱に東京芸大音楽科に在学の貴堂義晴君のバリトン独唱が加わり、多彩なプログラムに、変わったところで、富山大学付属学園のママさんコーラス(コール・グリュッケ・歌のかけ橋)のしゃれた演奏が期待され、可愛い「富山少年少女合唱隊」の歌声など、善意と好意に充ちた賛助を受け、微かな私たちの演奏に光彩を添えていただける幸せは、多くの方々の激励と助言とともに忘れられない。そして、何物にも勝る「力」とも考え、いつまでもいつまでもつづけてゆく私たちの「彼岸」に実を結ばせる心榮えとしたい………

6月21日(土)6時30分 開演

叢声楽苑主宰 小沢慎一郎

### 川辺外治展に寄せて 奥野茂清

4年前佐藤美術館で川辺外治回顧展が開かれた。私が先生にお目にかかったのはその時が始めてであった。その時最近の作だという「S嬢」(創元展出品)を見て若々しい情熱とほのかな色気が見事に昇華され人物画としては傑出したものだと思った。

この作品は今小生宅にあり、何時眺めても倦きのこない美しさを漂わせている。そして先生は作品から推してもっと若い方だとばかり考えていたが予想外に老齡である事も知って二度吃驚した。

純粋に画業に専念される熱情はとかく世俗に埋没し勝ちな私共の心を引締め、予想外の老齡であり乍ら予想外の青年であることに深い敬意と思慕の念を懐いて今日に至っている。

昨年春、先生と庄川に遊んだ時、私は先生に個展の開催をお勧めした。それから1年先生は黙々として画業に専念せられたらしい。老齡と不自由な体を推しての情熱の結晶が一堂に展観されるのを今から楽しみにしている。

会期 6月22日より6月29日まで

場所 県民会館3階 301号室

### 藤井兼弘個展によせて

藤井君は婦負郡千里の出身、富山中部高校から武蔵野美術大学を34年に卒業、36年から40年まで同志とグループ・イン展を東京のヤマト画廊、イトウ画廊にて開催、42年より竹川画廊で個展を連続開催して新具象作家としての地位を固めた。

昨年人々の勧めによって国画会に出品した。今後の彼の活躍が期待される。

「現代フランスのアイスピリー、コタボ、ポリン、フサロ、カシニユール等の作品に興味をもち、現代のヨーロッパ的色彩に強く心が引かれます」と彼は言っている。

100号から4号まで約30点出陳の予定。

浅井景一

### “文芸座演劇教室、の試み

劇団文芸座は、昭和22年に創立し、満22年の歴史をもつアマチュア演劇の団体です。会社員、商店主、先生、学生など演劇に興味をもつ35名が仕事の余暇に新劇の勉強を中心に人間的な交りを深めています。

“愛と信頼、を劇団のスローガンとして、時には苦しく、時には楽しく多くの芝居づくりに取り組みました。自主公演、富山市で25回、地方で100回の実績をもっています。

秋の本演の前に6月29日(日)14時から文芸座としては画期的な試みとして“演劇教室、という形で俳優座演出部増見先生の講演、続いて「シガマの嫁コ」を上演、観客と共に公開批評会をもち、共々に勉強したいと思っています。多数ご参加ください。

劇団文芸座 相島 貫

### 世界最古の歴史を誇る

#### ゲバントハウス弦楽四重奏団をしようかい

5年前に来富したゲバントハウス弦楽四重奏団が6月3日県民会館ホールで演奏します。ベートーベン誕生200年を前に、ベートーベンの真髓をきかせることでしょ。

ゲバントハウス・オーケストラの首席奏者4名で結成されてから150年余りになり偉大なる伝統をうけついでいます。今回はベートーベンの作品ばかりを集めて、弦楽の奥義を心ゆくまで演奏してくれるでしょう。

問合せ 25-0190



日付が入って新鮮

**アサヒビール本生**

文房具・事務用器

**文花堂**

富山市絵曲輪通り 電話25-2460